

令和7年度文楽を中心とした古典芸能振興事業企画運営業務委託契約に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

企画提案書の提出を受け付けた2者について、学識経験者等の意見を聴取する有識者会議による審査を行い、同会議の評価結果を基に、次のとおり受注予定事業者を選定しました。

- 1 案件名称
令和7年度文楽を中心とした古典芸能振興事業企画運営業務委託
契約期間 契約締結日から令和8年3月31日まで
- 2 選定した受注予定事業者
伝統芸能創出事業体
- 3 公募期間
令和7年5月14日から令和7年5月2日

4 有識者会議による審査の結果

(1) 有識者会議名簿（敬称略）

委員指名（五十音順）	役職等
小味 潤 彦之	同支社女子大学 学芸部音楽学科 准教授
佐藤 和男	独立行政法人日本芸術文化振興会 国立文楽劇場長
宮崎 優也	大阪アーツカウンシル統括責任者

(2) 有識者会議の開催日 令和7年5月21日

(3) 審査基準

評価項目	審査内容	配点
事業の総合的な企画力	・本事業目的の具現化に向けた考え方が整理されているか。 ・文楽への関心を高める具体的な内容が盛り込まれているか。 ・公演におけるターゲット層に応じた新たな演出等がみられるか。	30
事業の実現力・実行力	・事業を実現するのに必要な実績・ノウハウを有しているか。 ・公演等の実施内容に妥当性があり、実現性が高いか。 ・実施体制やスケジュール管理に無理がなく、実現性・実行性が高いか。	30
広報・情報発信	・対象とする世代に向けた効果的な広報手段・情報発信方法を行えるか。 ・文楽鑑賞への興味喚起及び文楽の魅力を発信する内容が盛り込まれているか。 ・来訪者向けの効果的な多言語媒体に関する内容が盛り込まれているか。	25
事業費の算出・経済性	・事業費の積算に妥当性があり、かつ経費を抑えるなどの工夫がみられるか。 ・入場料の考え方が確立されており、主催者が納得できる内容であるか。	15
合 計		100

(4) 審査を行った事業者

伝統芸能創出事業体

JCD・move 共同事業体

全2者

(5) 評価結果（有識者の評価点の合計）（合計得点の高い順）

評価項目	審査内容	提案者 A	提案者 B
事業の総合的な 企画力	・本事業目的の具現化に向けた考え方が整理されているか ・文楽への関心を高める具体的な内容が盛り込まれているか ・文楽公演におけるターゲット層に応じた新たな演出等がみられるか	72	40
事業の実現力・ 実行力	・事業を実現するのに必要な実績・ノウハウを有しているか ・公演等の実施内容に妥当性があり、実現性が高いか ・実施体制やスケジュール管理に無理がなく、実現性・実行性が高いか	76	33
広報・情報発信	・対象とする世代に向けた効果的な広報手段・情報発信方法を行えるか ・文楽鑑賞への興味喚起及び文楽の魅力を発信する内容が盛り込まれているか ・来訪者向けの効果的な多言語媒体に関する内容が盛り込まれているか	63	45
事業費の算出・ 経済性	・事業費の積算に妥当性があり、かつ経費を抑えるなどの工夫がみられるか ・入場料の考え方が確立されており、主催者が納得できる内容であるか	39	17
合 計		250	137